

政策整理番号 35

評価シート(A)

対象年度	H16	作成部課室	環境生活部国際交流課	関係部課室	環境生活部国際交流課
------	-----	-------	------------	-------	------------

A - 1 - 1 政策と施策の関係・施策の体系:規則 § 6 1号関連

政策番号	4-11-1	政策名	国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進
------	--------	-----	--------------------------------

政策概要	国際化の進展に対応して、異文化を理解し尊重する気風を根付かせ、国際社会においてコミュニケーションできる国際性豊かな人材の育成と、県民参加型の国際交流・国際協力が活発に行われる環境づくりを目指します。
------	---

施策番号	施策名 施策概要	政策評価指標
1	国際化を担う人材育成の推進 指導方法の改善や教員の指導力の向上のほか、県民自らコミュニケーションを図ろうとする姿勢の育成を図るなど、コミュニケーションの手段としての外国語教育をさらに充実させることを目指します。	・ALT(外国語指導助手)1人当たりの生徒数
2	外国人の暮らしやすい環境づくり 国際化が進み、宮城県を訪れ、宮城県に暮らす外国籍県民の数は年々増加しています。また、外国人留学生も年々増加しています。このように増加する外国籍県民と一般県民が互いに理解し合い、共に安心して生活できる地域づくりを目指します。	・県内外国人留学生数
3	さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進 国際化が進展する中で、宮城県の個性を生かしながら、県民一人ひとりが実感できる国際交流を経済、産業、文化、学術、スポーツなどの各分野で推し進めるとともに、発展途上国等からの技術研修員の受け入れや専門家の派遣などの国際協力を行います。	・公的主体による交流事業で海外と往来した延べ人数
4	国際交流活動を支える体制づくり 国際化が進むことにより、国際交流の主体は行政から民間国際交流団体に移りつつあります。このような変化に対応するため、(財)宮城県国際交流協会を通じて積極的な情報提供や国際交流の機会づくりを目指します。	

A - 1 - 2 県民満足度(政策)の推移:規則 § 6 1号関連

(単位:点)

	第1回(H13)	第2回(H14)	第3回(H15)	第4回(H16)	
重視度(中央値) A	70	70	70	66	
満足度(中央値) B	60	60	60	60	
かい離 A-B 【かい離度】	10 【中】	10 【中】	10 【中】	6 【低い】	

かい離:極めて高い(40点以上),非常に高い(30点以上~40点未満),高い(20点以上~30点未満),中(10点以上~20点未満),低い(10点未満)

A - 1 施策群設定の妥当性:規則 § 6 1号

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

<p>A-1-1 【政策目的に沿った施策か】 概ね適切 ・国際化時代にふさわしい人づくり,外国人が共に生活する地域社会づくり,世界との友好をはぐむ様々なレベルの交流・協力の推進など,政策の目指すところに合った事業からなる施策である。</p> <p>【施策の重複・矛盾点の有無】 適切 ・重複や矛盾は特になし。</p> <p>A-1-2, A-1-3 【県民満足度・社会経済情勢から見て必要か】 概ね適切 ・政策重視度は4ポイント下降し66点となったが,依然「ある程度重要」な政策に区分される。圏域別では大崎・栗原・登米・気仙沼の北部農村圏域で減少し,仙南・石巻は変わらず,仙台都市圏では逆に10ポイント上昇している。また,男女別では,全ての世代の男性が5ポイント減少し,女性は変わらずであった。ここ数年における海外でのテロ,イラク,SARS等の諸問題による国際交流への不安・躊躇があったことに加え,国内での大地震や景気回復見込みの不透明感などから防災対策や雇用の安定など社会経済情勢を反映した政策に重視度がシフトし,国際交流の重視度が下降したものと想像される。</p> <p>・政策満足度は60点のままであり,結果かい離度は6へと低下した。 ・インターネット等の普及や経済のグローバル化の進展により,人・もの・カネ・情報等の国境を越えた交流が益々活発になっており,国同士の外交だけでなく国境を越えた地域と地域の交流・協力の重要性や,世界的な移民化傾向の進展に伴う多文化・多民族社会への流れなどから,21世紀の宮城県を考えるに本政策の必要性は高いと考える。 ・各施策の優先度は,優先度の最も低い「施策2」が僅かづつながら確実に上昇し,他の施策はあまり変化がないが重視度に対し満足度が追いついていないことから,今後も積極的な関与を維持していくべきと考える。</p>
--

A - 1 - 3 一般県民満足度の推移と社会経済情勢(施策毎):規則 § 6 1号関連

施策番号	一般県民満足度調査結果(施策)			社会経済情勢に適合した施策か	必要性総括
	優先度(直近の3回)	県民が必要と感じているか()			
1	第4回 29.8%	2位	・本施策の優先度は4施策中2位である。 ・本施策のかい離は10点と中程度である。 【結論】 必要性:ある程度感じている	・入学試験でもリスニング力を重視されるなど、外国語のコミュニケーション能力の向上が求められている。 ・JETプログラムは、開始18年を迎えたが、全国で5,000人を超えるALTが招致され、外国語教育の充実、地域レベルの国際交流に貢献しており、社会に求められている事業である。 ・施策の優先度は県民満足度調査に当事者である外国籍県民が含まれていないこともあり施策中最下位だが、唯一着実な増加傾向にある。 ・外国人留学生数等県内の外国籍県民は着実に増加しており、彼らの生活上の不安を可能な限り取り除くための本施策群を実施することにより、地域住民とともに双方が安心して生活できる環境づくりが推進されるものである。	大
	第3回 28.6%	2位			
	第2回 30.1%	2位			
2	10.5%	4位	・本施策の優先度は4施策中4位である。 ・本施策のかい離は14点と中程度である。 【結論】 必要性:比較的感じていない		
	10.2%	4位			
	9.3%	4位			
3	39.4%	1位	・本施策の優先度は4施策中1位である。 ・本施策のかい離は11点と中程度である。 【結論】 必要性:ある程度感じている	・政策目的実現との関係では他の施策と排斥し合う関係にはなく、他の各施策の手法(主体)という性格もある。 ・そのため施策の優先度は高くないが各施策を効果的に推進する本県国際交流施策の足腰の強化という面から継続的に取り組む必要がある。	中
	39.6%	1位			
	38.7%	1位			
4	18.6%	3位	・本施策の優先度は4施策中3位である。 ・本施策のかい離は12点と中程度である。 【結論】 必要性:比較的感じていない		
	20.6%	3位			
	20.1%	3位			

必要性のランク【結論】:非常に感じている > かなり感じている > ある程度感じている > 比較的感じていない > あまり感じていない

A - 2 政策評価指標群の妥当性:規則 § 6 2号

適切 概ね適切 課題有

【施策の有効性を評価する上で適切か】 概ね適切
 ・3指標のうち2指標は適切であり今後も継続する。なお、「要検討」とした1指標(県内外国人留学生数)については代替指標の検討を行う。
 「政策評価指標分析カード」から

【重視すべき施策に指標が設定されているか】 適切
 ・必要性を「大」とした指標全てに指標が設定されているが、上述のとおり施策2の指標(県内外国人留学生数)については、実態把握に適した代替指標の検討を行う。

A - 3 施策群の有効性:規則 § 6 3号

有効 概ね有効 課題有

評価シート(B) A-3-1「施策の有効性」から

視点	政策全体	施策1	施策2	施策3				
政策評価指標達成度	概ね有効	概ね有効	有効	有効				
県民満足度	概ね有効	概ね有効	概ね有効	有効				
社会経済情勢	概ね有効	概ね有効	概ね有効	概ね有効				
全体	概ね有効	概ね有効	概ね有効	有効				

A 政策評価(総括):規則 § 6

適切 概ね適切 課題有

・当該政策に関し、施策群設定の妥当性(A-1)、政策評価指標群の妥当性(A-2)、施策群の有効性(A-3)を総合的に検証した結果、「概ね適切」と考える。

対象年度 H16

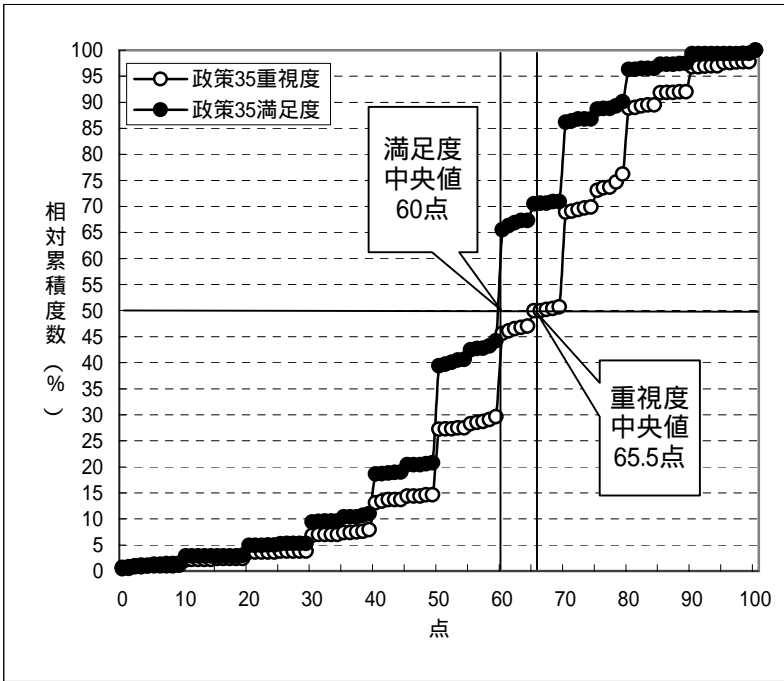
政策番号 4-11-1

政策名 国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進

(1) 一般県民満足度調査結果

高関心度 46.7

高認知度 47.5



高関心度
「政策」の内容に対する関心の高さを示す数値であり、満足度調査の関心度に関する設問中「関心があった」、「ある程度関心があった」を選択した回答者の全回答者に対する割合

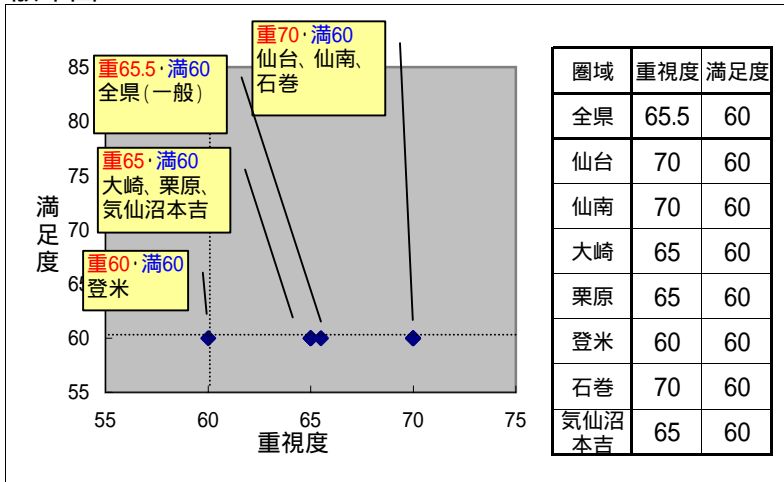
高認知度
「政策」の内容について知っている度合いの高さを示す数値であり、満足度調査の認知度に関する設問中「知っていた」、「ある程度知っていた」を選択した回答者の全回答者に対する割合

基本統計量						
全県						
項目	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
中央値	65.5	70	71	60	60	60
第1四分位	-	-	-	50	50	50
第3四分位	-	-	-	70	70	70
四分偏差	-	-	-	10	10	10

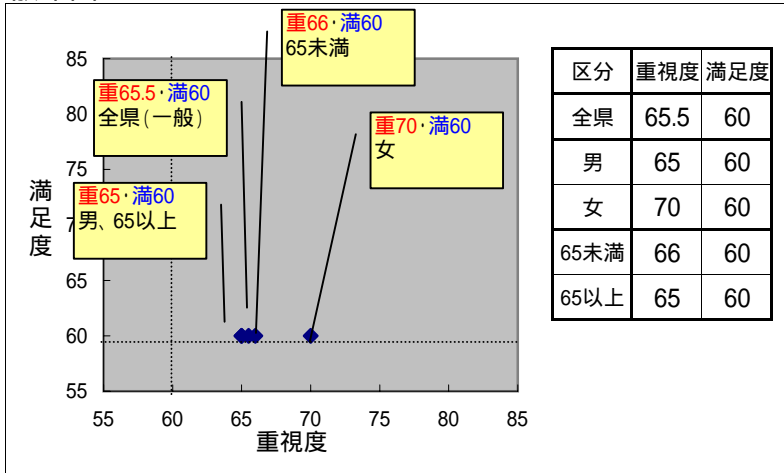
圏域別中央値(一般、市町村のみ)						
圏域	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	65.5	70	71	60	60	60
仙台	70	70	-	60	60	-
仙南	70	70	-	60	60	-
大崎	65	70	-	60	60	-
栗原	65	68	-	60	60	-
登米	60	70	-	60	60	-
石巻	70	70	-	60	60	-
気仙沼本吉	65	70	-	60	60	-

男女別・年代別中央値(一般のみ)						
区分	重視度			満足度		
	一般	市町村	学識者	一般	市町村	学識者
全県	65.5	70	71	60	60	60
男	65	-	-	60	-	-
女	70	-	-	60	-	-
65未満	66	-	-	60	-	-
65以上	65	-	-	60	-	-

散布図



散布図



対象年度 H16

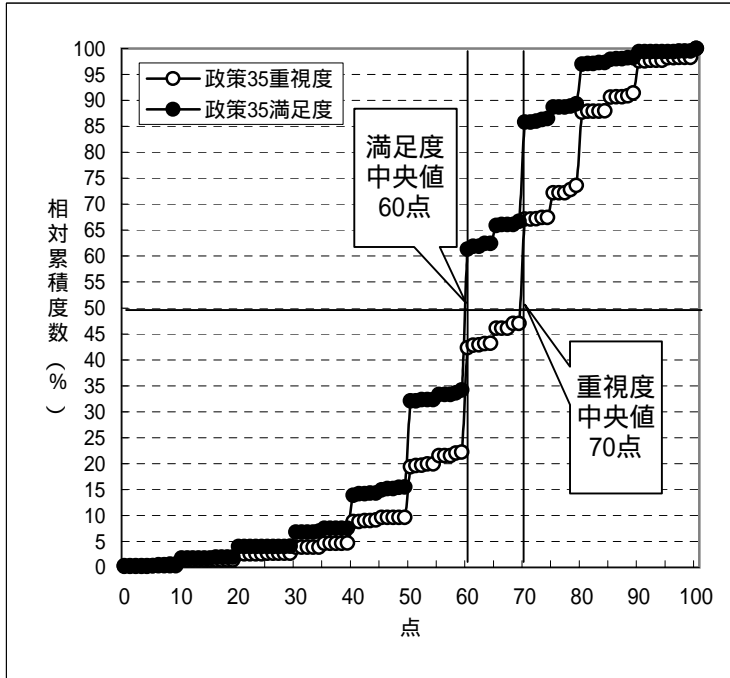
政策番号 4-11-1

政策名 国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進

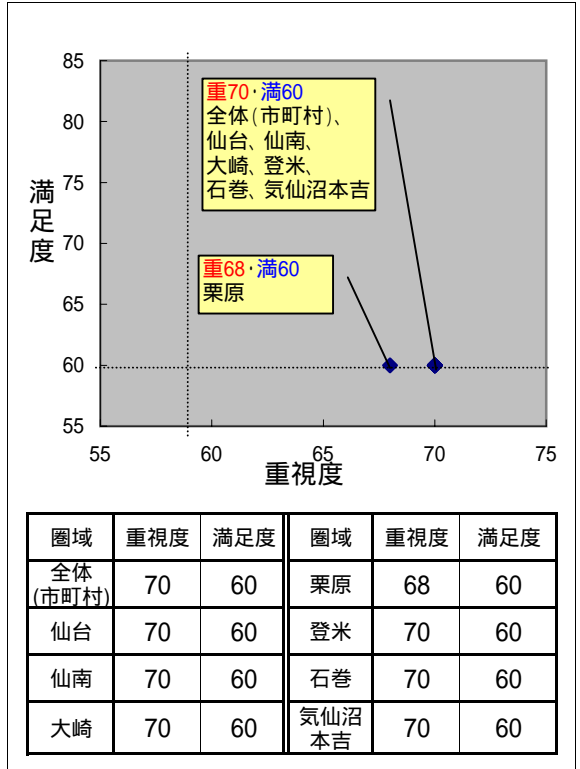
(2) 有識者(市町村) 県民満足度調査結果

高関心度 56.4

高認知度 67.8



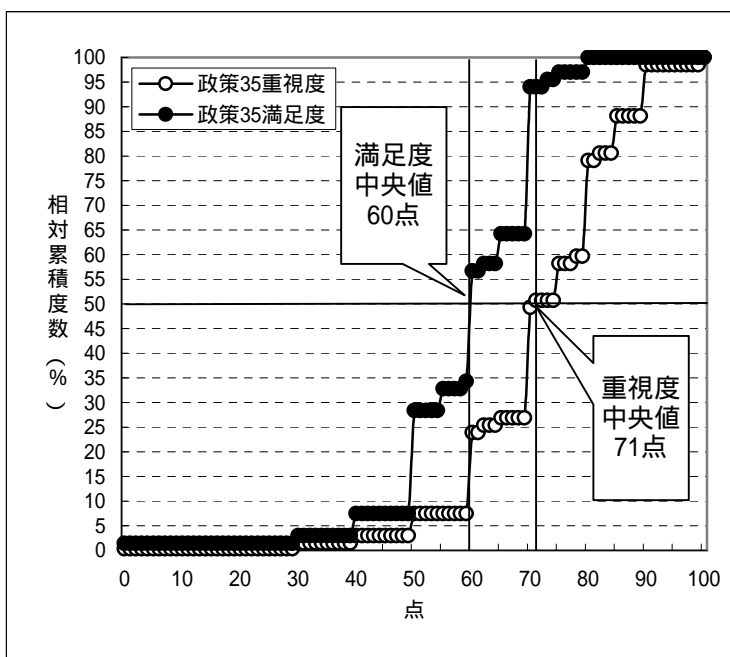
散布図



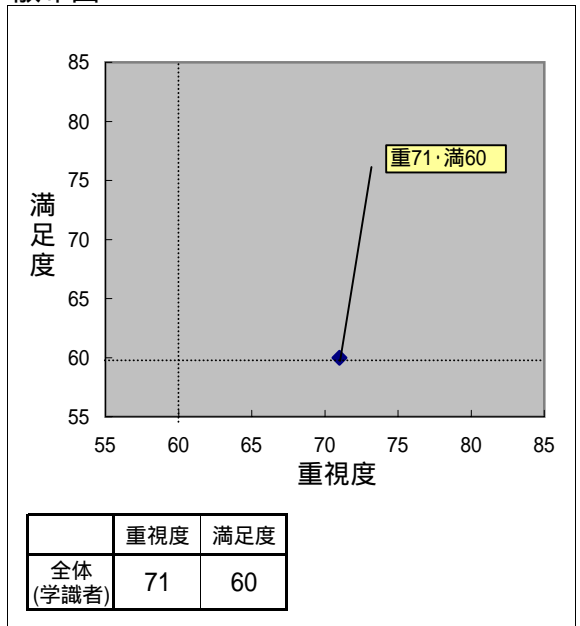
(3) 有識者(学識者) 県民満足度調査結果

高関心度 85.3

高認知度 80.9



散布図

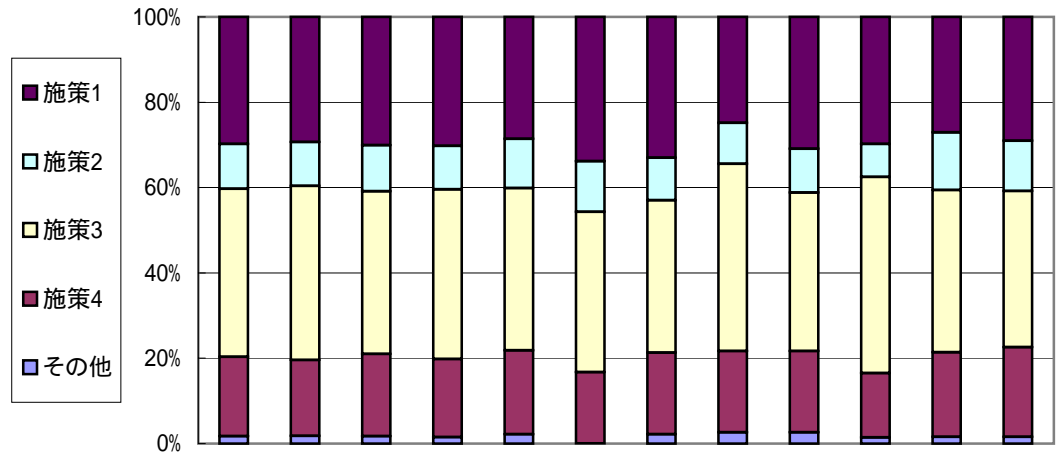


対象年度 H16

政策番号 4-11-1

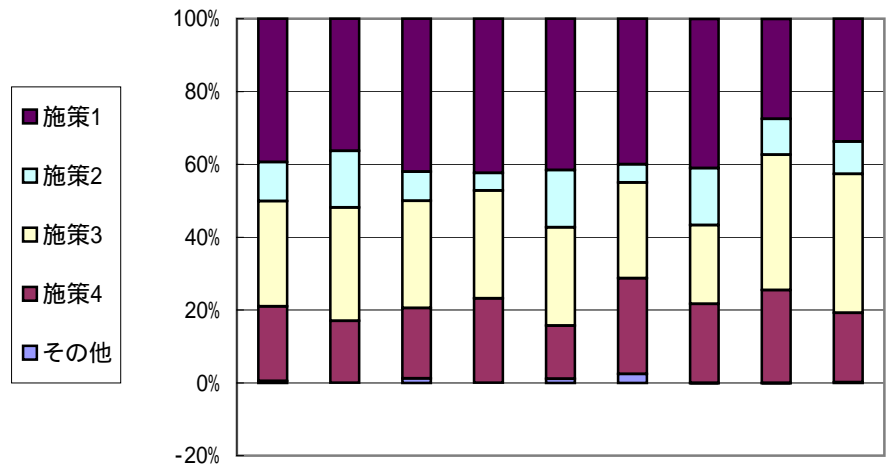
政策名 国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進

(4) 一般県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	全体	男	女	65未満	65以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉
施策1	国際化を担う人材育成の推進	29.8	29.3	30.1	30.2	28.6	33.8	33.0	24.8	30.9	29.8	27.1	29.0
施策2	外国人の暮らしやすい環境づくり	10.5	10.3	10.8	10.2	11.5	11.9	10.0	9.6	10.3	7.7	13.5	11.8
施策3	さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進	39.4	40.8	38.1	39.8	38.1	37.6	35.7	43.9	37.1	46.0	38.0	36.6
施策4	国際交流活動を支える体制づくり	18.6	17.8	19.3	18.3	19.6	16.7	19.1	19.1	19.1	15.1	19.8	21.0
	その他	1.7	1.8	1.7	1.5	2.2	0.0	2.2	2.6	2.6	1.4	1.6	1.6

(5) 有識者(市町村・学識者)県民満足度結果(施策別・優先度1位割合)



施策番号	施策名	市町村優先度								学識者優先度
		全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	
施策1	国際化を担う人材育成の推進	39.4	36.3	42.0	42.4	41.6	40.0	41.0	27.5	33.8
施策2	外国人の暮らしやすい環境づくり	10.7	15.6	8.0	4.8	15.7	5.0	15.7	9.8	8.8
施策3	さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進	28.9	31.1	29.5	29.6	27.0	26.3	21.7	37.3	38.2
施策4	国際交流活動を支える体制づくり	20.5	17.0	19.3	23.2	14.6	26.3	21.7	25.5	19.1
	その他	0.5	0.0	1.2	0.0	1.1	2.4	(0.1)	(0.1)	0.1